

日本：日経平均株価は半導体関連株下落や円高進行を受け大幅下落

- 4日の日経平均株価は一時1,500円超の下落に
- 半導体関連株の大幅下落や急速な円高が背景
- 米エヌビディアの決算内容が失望されたことが重しに

■ 日経平均株価は半導体株下落で大幅下落

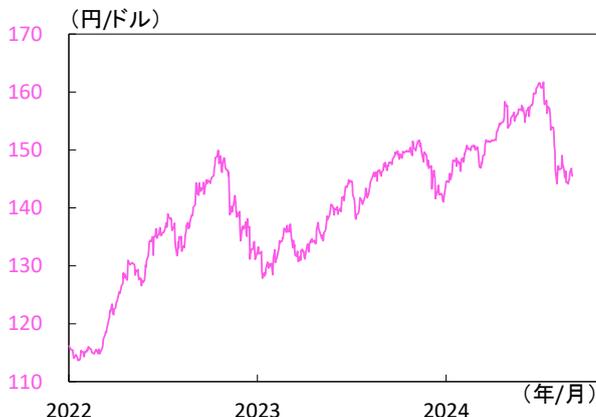
9月4日の日経平均株価は一時1,500円超の下落となり、前場終値では約2週間ぶりに37,500円割れとなりました（図1）。8月28日発表の米半導体大手エヌビディアの決算内容が市場で失望され、半導体関連株が下落基調となったことや（図2）、為替市場で一時1ドル=144円台までドル円で円高が進行したことが国内株の重しとなった模様です（図3）。また前日、米国市場で主要株価指数がハイテク株を中心に下落したことも懸念されました。米国株下落の背景には8月の米ISM製造業景気指数が47.2と市場予想を下回ったことが挙げられます。

■ 今後株価の地合いは好転する見込み

今回の株価大幅下落は日本経済悪化の懸念や、政治的・地政学的リスクの高まりへの懸念が直接の原因ではないとみています。日本の良好なファンダメンタルズや日本企業の増益期待の高まり、日本株の割高感が解消されつつあること等が、中期的に日本の株価を支えるでしょう（図4）。国際金融市場の動揺が収まりドル円相場も安定化すれば、日本の株価も落ち着きを取り戻すとみています。ただし、発表予定の米雇用統計が軟調な結果となり米国の景気減速懸念が高まった場合、株式市場が嫌気する可能性に注意が必要です。また、為替相場を占う上で、今後の日銀と米連邦準備理事会(FRB)の金融政策姿勢が注目されます。（本江）

【図3】 為替市場では円高が進行

米ドル円相場



注) 直近値は2024年9月4日12:30。

出所) Bloombergより当社経済調査室作成

【図1】 日経平均株価は一時1,500円超安の大幅下落

日経平均株価とTOPIX



注) 直近値は2024年9月4日11:30。

出所) Bloombergより当社経済調査室作成

【図2】 米半導体関連株の軟調が目立つ

米国半導体株指数とエヌビディア株価



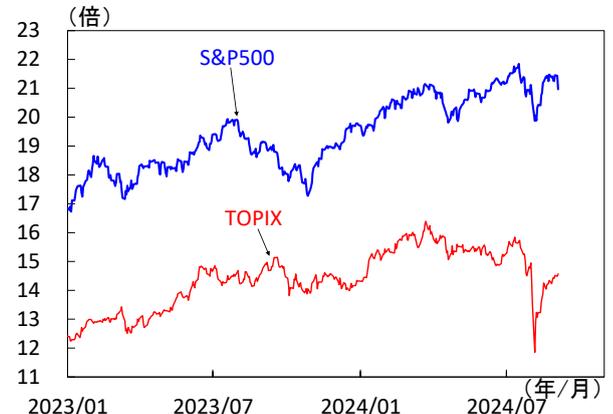
注) 直近値は2024年9月3日。

米国半導体株指数はフィラデルフィア半導体株指数。

出所) Bloombergより当社経済調査室作成

【図4】 日本株の割高感の調整進む

日米株 予想PER



注) 直近値は2024年9月3日。12カ月先予想PERを使用。

出所) Bloombergより当社経済調査室作成

本資料に関してご留意頂きたい事項

- 本資料は、投資環境等に関する情報提供のために三菱UFJアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 各ページのグラフ・データ等は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりません。
- 本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の三菱UFJアセットマネジメント戦略運用部経済調査室の見解です。また、三菱UFJアセットマネジメントが設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません

本資料中で使用している指数について

「日経平均株価」に関する著作権、知的所有権、その他一切の権利は日本経済新聞社に帰属します。
TOPIX（東証株価指数）に関する知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。



三菱UFJアセットマネジメント

三菱UFJアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会